

みずほCustomer Desk Report 2016/06/28号(As of 2016/06/27)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	102.25 AUD/USD
TKY 9:00AM	102.19	1.1041	112.82	0.9729	1.3445	0.7430
SYD-NY High	102.50	1.1084	113.24	0.9819	1.3570	0.7460
SYD-NY Low	101.41	1.0971	111.43	0.9710	1.3122	0.7325
NY 5:00 PM	102.01	1.1025	112.44	0.9785	1.3230	0.7327
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.49/15.69		△25RR	2.930	Yen Call Over	
NY DOW	17,140.24	▲260.51	債券市場	日本2年債	-0.2800	▲1.0bp
NASDAQ	4,594.44	▲113.54		日本10年債	-0.1900	▲2.0bp
S&P	2,000.54	▲36.87		米国2年債	0.5935	▲3.4bp
日経平均	15,309.21	357.19		米国5年債	0.9806	▲9.1bp
TOPIX	1,225.76	21.28		米国10年債	1.4377	▲12.2bp
シカゴ日経先物	15,250	5.00		独10年債	-0.1160	▲6.9bp
ロンドンFT	5,982.20	▲156.49		英10年債	0.9340	▲15.2bp
DAX	9,268.66	▲288.50		豪10年債	2.0560	4.8bp
ハンセン指数	20,227.30	▲31.83	為替市況	USD/CNH	6.6822	0.0456
上海総合	2,895.70	41.42		ドルインデックス	96.54	1.10
USDJPY 3M Vol	14.01	0.34%	商品市況	CRB指数	187.568	▲1.12
USDJPY 6M Vol	13.05	0.40%		NY金	1,324.700	2.30
EURJPY 3M Vol	15.96	0.40%		WTI	46.330	▲1.31
EURJPY 6M Vol	14.68	0.41%		Dubai Spot	44.95	0.12

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月27日	22:45	米 サービス業PMI・速報値	6月 51.3/51.2	52.0/-
	-	米 ダラス連銀製造業活動	6月 -18.3	-15.0
	-	欧 世界経済フォーラム・夏季ダボス会議-28日	-	-
6月28日	02:30	欧 ECBフォーラム(シントラ) イェレンFRB議長・ドラギ	-	-
	02:30	中 ECB総裁・カーニーBOE総裁、講演	-	-
	02:30	中 周・中国人民銀行総裁、講演	-	-

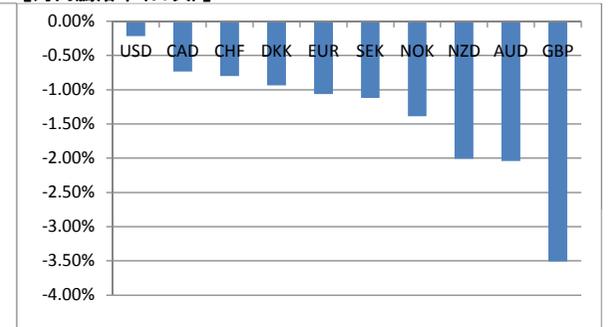
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月28日	15:45	仏 消費者信頼感指数	6月 97	98
	18:00	英 BOE国民投票後の臨時オペ	-	-
	21:30	米 GDP(年率/前期比)・3次	第1Q 1.0%	0.8%
	21:30	米 個人消費	第1Q 2.0%	1.9%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	第1Q 2.1%	2.1%
	23:00	米 消費者信頼感指数	6月 93.5	92.6
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	6月 3	-1
	-	欧 EU首脳会合-29日	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】

東京	週明けのロンドン時間はロンドンがキャップダウンして始まり、Brexitの余波も落ち着いた状況下、ドル円は101.50まで下落する。しかし、東京時間午前8時から政府・日銀が臨時会合を開催したこともあり、日経平均先物が反転回復するとドル円は102円台を回復し、東京時間102.19ヘルでオープンする。公示仲値にかけてはドル円は底堅く推移し、仲値発表前に高値102.50をつける。その後は経済指標の発表等もなく、ドル円は102円を挟んでのレンジ推移となり、結局101.94ヘルで海外市場へ渡った(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は弱含み推移。101.94ヘルでオープン後、経済指標など目立ったニュースのない中、英国においてEU離脱派が勝利し今後への不透明感が高まる中、リスク逃避的な円買いが持ち込まれたことで、売り優勢の展開が継続。101.54ヘルでNYに渡った。ユーロは売り優勢。1.1047ヘルでオープン後、銀行株を中心に欧州株が軟調な値動きとなりコア国債金利も低下したことを背景にユーロも1.1000割れまで低下。1.0994ヘルでNYに渡った。ポンドは24日(金)の安値を更新。1.3446ヘルでオープン後、英中央銀行による利下げ観測が頭出したことで英5年債金利が過去最低を更新。英オーストン財務相が「必要な場合に備えさらに念入りに検討した緊急計画がある」など不安払拭を図るも影響は限定的。ポンドは主要通貨すべてに対して売りが先行し、1.3163ヘルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179)
ニューヨーク	週明けNYのドル円相場は101.54ヘルでオープン。リスク回避ムードが継続されドルは大幅下落が始まったが、ドル円は101円半ばで落ち着いた動きとなった。英国のEU離脱の余波で欧州通貨は売りが続き、対欧州通貨では円買いの動きが見られるものの、ドルも相対的に買われたことから、ドル円は膠着した動きが継続した。午後に入り、欧州市場への不安からドルへの資金需要も高まっているとの指摘もあり、ドル円は日高の展開となり一時102円台を回復した。しかし、103円にかけては徐々に売りオーダーも出ているとの観測もあり、102円台では上値は重く推移し、102.01ヘルで海外市場へ渡った。一方、ユーロは1.0994ヘルでNYオープン。先週の英EU離脱の余波からリスク回避的な欧州通貨売り円買いドル買いは続き、ユーロは1.0971まで下落した。ただ、米追加利上げ期待は大きく後退し、9月の利上げは無いとの見方が優勢。ユーロは1.1044まで戻す場面も見られたが積極的な取引は控えられ、1.1025ヘルで海外市場へ渡った。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.50-102.50	1.0950-1.1150	111.00-114.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場はドル指数は上昇するも、ドル/円相場は101.50割れを試す等、引き続き英国民投票の結果に伴う先行き不透明感が根強い環境下、リスク回避の円買いを感じさせる相場展開となった。しかし節目の101.50を何度もトライするも割り込まず、その後は徐々に値を戻し、102円台に一時的に戻すなど、ドル/円相場では大幅な円高動きは見られなかった。とはいえ昨日も米株式市場が大幅下落する一方で、米国債は大幅延伸するなど、金融市場全体は引き続きリスク回避の動きが依然強く、足許のドル/円相場も再び101円台後半水準に戻している。市場の混乱は週末を挟んでも落ち着いたところをみせる動きは見られない環境下、本日の日本市場も引き続き株安・円高の流れをトライする可能性が高いと予想される。特に昨日意識された101.50を割り込むような局面が見られれば、一段の円高が意識される可能性もあるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。